

No. 167

2021.2.1

募集

表紙写真を募集します
詳しくは裏表紙を
ご覧ください

市議会かさおかは
市民とのかけはしです

KASAOKA CITY COUNCIL

市議会かさおか

- P2 12月定例会を開催しました
- P5 意見の分かれた議案等審議状況
- P6 ここが聞きたい！一問一答

菜の花フォトコンテスト2020（議長賞） 夕焼け 角田訓也様

12月定例会を開催しました

会期
12月 1日～
12月22日



定例会の内容から
市民の皆さまに
ぜひお伝えしたい
ものを掲載します

できごと

議案審議

2～5P

一般質問

6～11P

次回は
3月
定例会

主な内容

○議案・・・20件



PICK UP!

ここに注目

- 伏越港の自動車駐車場条例を可決しました
- 農道離着陸場設置条例を否決しました
- 補正予算を修正可決しました



伏越港の自動車駐車場条例を可決しました

議案名

笠岡市笠岡港笠岡地区（伏越）自動車駐車場条例の制定について

Q どんな条例なの？

A 笠岡諸島が日本遺産認定を受けたことにより、観光客の増加が見込まれ、笠岡港笠岡地区（伏越）フェリー乗り場利用者の利便を図るため、自動車駐車場を設置するものです。条例は令和3年4月1日から施行されます。

◆概要◆

名 称	笠岡市笠岡港笠岡地区（伏越）自動車駐車場
場 所	笠岡市十一番町35番地1
利用時間	午前0時から午後12時
種 類	普通自動車
駐車料金	1台当たり24時間につき200円

○駐車券発行の方式です。





農道離着陸場設置条例 を否決しました

議案名

笠岡市農道離着陸場設置条例の制定について

Q どんな条例だったの？

A 現在県が所有している笠岡湾干拓地の農道空港（笠岡ふれあい空港）を市が譲り受け、広く産業の振興を図り、市民の福祉向上に寄与し、地域の活性化に資する施設として、笠岡市農道離着陸場を設置するものです。

Q どうして否決したの？

A この議案は、より詳細な審査をするために厚生産業委員会へ付託されました。委員会の審査では、賛成少数で「否決すべきもの」となりました。審査の後、本会議で委員長報告が行われ、討論の後、採決をした結果、否決となりました。委員会での意見、本会議での討論などは次のとおりです。

執行部の説明

◆国道2号線バイパス開通の予定や大規模園芸施設の稼働等による利用価値の高まり、また農道空港の使用手続きの簡素化にもつながることから、条例を制定し、市が譲り受けることとしたい。

委員の意見

- ◇現在、修繕の責任は県にあるので、市のリスクは低いということになる。移管なしで今までどおり管理する方がよい。平成17年から断り続けた市の姿勢は正しかった。
- ◇市の試算する大規模修繕費で、市は1割負担とあるが、笠岡市に移管されると、県の負担がなくなるため、今後すべて市の負担となるのではないか。
- ◇委員の中には、他の農道空港の状況が分かる資料を入手して、どういった経費が必要か事前に調べられた人もいるが、譲渡後の維持管理経費の増加が考えられる。

本会議の討論

【否決に反対】

- ・行政にとって施設でどう利益を上げるかというのが問われる時代になっている。
- ・市の所有となれば、利用料について、市内と市外の方で差別化をすることが可能である。
- ・農道空港の利用は大きな利益を上げる一つの起点になることから、ぜひ市で引き受けるべきである。

【否決に賛成】

- ・条例については他の農道空港の良いところ取りのような形に見え、数十年空港を運営する中で積み上げた実績のある笠岡に照らし合わせた内容になっているのか疑問であり、検討の余地があるのではないかと感じる。
- ・持続可能な空港の運営のために、使用料の見直しをしなければならない。市内、市外の差別化や、補修後に活用するための車両の制限、モラルを逸脱した使用の場合の線引きも必要になってくる。
- ・市が本当にこの農道空港を有効に使っていききたいのであれば、新たな条例の制定が必要である。



補正予算を修正可決しました

議案名

令和2年度笠岡市一般会計補正予算
(第10号)

Q なんの予算を修正したの？

A 次の事業の予算（総額660万円）を削除しました。

事業名	予算額
①島のきずな便拡充事業	360万円
②農道離着陸場修繕費負担金	300万円

Q なぜ修正したの？

A 主な執行部からの説明と、委員の意見は次のとおりです。

①島のきずな便拡充事業

説明

ガソリン及び灯油の、飛島、真鍋島、六島への配送について、浅野石油株式会社からNPO法人かさおか島づくり海社（以下、海社）に業務委託し、専用船により各島を巡り販売を行う、きずな便拡充対象事業として、実証運航を3か月間実施する経費の補助を行う。

解説

この事業は、6月補正予算において、海社が実施している島のきずな便事業の拡充として、新たに真鍋島、飛島への物品の購入配送と高齢者独居世帯等への見守り活動を行う事業との説明があり、船の購入費300万円と運用経費100万円が計上されましたが、審査の結果、削除された予算です。

この度、10月、11月に開催された「笠岡諸島における石油製品の安定・効率的な供給体制の構築検討事業」の検討委員会において協議され、また、11月、12月の総務文教委員会協議会及び分科会において、今後の石油製品の安定・効率的な供給体制を持続するためとしての説明があり、船の購入費300万円と運用経費60万円が再び計上された事業になります。

意見

◇現在、石油製品の供給に関わっていただいている業者等への支援、育成をすることが先決ではないのか。

◇実証運航とはいえ、海社に業務委託することが前提で、きずな便ありきでの事業ではないのか。

◇海社での、きずな便に関わる集落支援員の活動内容及び経費が、事業として不明瞭ではないか。

◇購入する船は、県及び市の補助金によるものであるが、実証実験の結果に関わらず、海社に所有させ、事業への使用を委ねることに問題はないのか。

◇きずな便の拡充の必要性はあると思うが、石油製品の供給と、きずな便を結びつけて事業とするのはどうか。別に考えた方がよいのではないか。

◇島しょ部については、以前、出張所の職員とは別に、当時の市長の特命による島おこし海援隊が配置され、各島民との官民協働として現在の海社が設立された経緯がある。海援隊終了後も、海社が、出張所の職員及びまちづくり協議会、地域担当職員とともに、島の生活の大きな役割を担っている状況である。今のうちに将来的にも安心できる持続可能な環境を考えるべきであり、この事業は必要であると思う。

次のページにつづく

②農道離着陸場修繕費負担金

解説

厚生産業委員会に付託された「笠岡市農道離着陸場設置条例の制定について」に関連するもので、後年の施設の維持管理経費についての懸念が指摘されるなど、委員会での審査の結果、否決すべきものとなりました。

そのため、この事業に関連する補正予算である「農道離着陸場修繕費負担金」についても削除すべきとの結論に至りました。

意見の分かれた
議案等審議状況



全会一致で
可決されたものは
笠岡市議会HPへ
掲載しています

議案等一覧

○笠岡市農道離着陸場設置条例の制定について . . . 否決

○令和2年度笠岡市一般会計補正予算（第10号）（修正部分） . . . 可決

賛成・不賛成の分かれた議案は
起立採決で賛否を問います。

賛成○ 不賛成●

議案名	議員名		会派名		創政みらい					讃志会					公明党		改革21		笠栄会		諸派		不賛成・賛成	
	天野喜一郎	森岡聡子	仁科文秀	大月隆司	栗尾典子	桑田昌哲	東川三郎	奥野泰久	大山盛久	原田てつよ	山本聡	齋藤一信	大本邦光	藤井義明	藏本隆文	山本俊明	妹尾博之	坂本亮平	樋之津倫子	真鍋陽子				
笠岡市農道離着陸場設置 条例の制定について	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	●	議長	●	●	●	●	欠席	●		4 : 14		
令和2年度笠岡市一般会計 補正予算（10号） （修正部分）	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	議長	○	○	○	●	欠席	●		12 : 6		

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることはできません。

ここが聞きたい！ 一問一答

個人質問
10人



12月定例会
で行われた
一般質問の様子を
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

質問ルール

代表質問
質問時間

20分+
会派人数
×5分

個人質問
質問時間

1人
30分以内

質問回数

回数制限
無し

次回は
3月
定例会

おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。
質問の様子はHPでも会議録及び動画を公開しています。

※動画は定例会から約1か月後に公開します。

次回質問日(予定)

3月 6日(土) 代表
9日(火) 個人
10日(水) 個人
11日(木) 個人

9時30分から!

議員 救急艇は、笠岡市が建造、維持管理、運航し、救急隊員を消防組合に協力依頼すると思っています。先日の組合議会で、組合の管理者である笠岡市長の「船は笠岡市が建造し、運航・運営を組合に委託する」との発言に対し、他市町の副管理者からは「島民の命を守るのは当たり前だが、経費の問題等が、はっきりしないとゴーサインは出せない」、「船は笠岡市で用意し、運航経費、船長の人件費は笠岡市で持っていた。消防署員の人件費は、陸地も島も一緒だ」との発言があった。組合議会での理解は万全と言えるのか。

市長 笠岡市で救急艇を建造し消防組合に貸与すること、また、運航は消防組合が行うこと、さらに、船長の人件費は笠岡市が負担する



はらだ
原田てつよ議員

救急艇導入について一部事務組合
(笠岡地区消防組合)の理解を問う

副市長 委託という言葉を管理者が使ったので勘違いされたと思っている。組合議会後に確認し、ご理解をいただいている。

笠岡市・里庄町相談支援
センターの充実を問う

議員 2名の相談員の体制が、受託事業所との兼務となっており、相談業務に支障をきたしている。今後の考えをたずねる。

市長 令和3年度から、専任の体制にできるよう、里庄町や受託事業者等と協議を進めていきたい。

議員 救急艇も相談支援センターも命に関わる問題である。きちんとした対応を願う。

※他に「手話言語条例制定後の取組」について質問をしました。



ことなどをしっかり説明する。



くりお のりこ
栗尾典子議員

救急艇導入についての 答弁に関する疑義

議員 救急艇の運航体制と救急体制はできているという副市長の発言は虚偽だったのか。

副市長 消防組合議会で費用負担は組合がするといった解釈をされた。笠岡市の所有となる救急艇を組合に運航、運営を委託する。諸経費は精査した上で協議していく。

議員 島民からの要望を受ける等も消防が対応しているとのことだが、笠岡市が検討してから消防組合に提案するのが手順では。

市長 私は管理者として組合に解決、環境整備をするよう指示する。

議員 市長の立場と管理者の立場を分けて考えるべき。副管理者とも合意できていないし、議員とも



認識が一致していないと感じる。事実に基づいた議論ができなければ議会の存在意味がない。

中心市街地ランドデザインと 笠岡市のめざすまちづくりを問う

議員 ビジョンを持つてまちをつくっていくことが重要である。貫く講堂はどうするのか。

市長 学校施設用地内の安全性を最優先し、費用対効果を踏まえ施設の解体も視野に入れて考える。駅周辺の整備構想を議会と共有しながら進めていきたい。

議員 笠岡のシンボルとして残していたきたい。笠岡の未来を考え、ランドデザインをもつて納得したい。庁舎建替、駅前、商店街など全てがビジョン次第なので、目先のことでなく、未来を見据えて笠岡のまちをつくっていたきたい。



くらもと たかふみ
藏本隆文議員

現状のまちづくり協議会では 行政運営の核には程遠い

議員 市内全域でまちづくり協議会が発足して9年目だが、理想と現実の状況はどうなっているのか。

市長 一定の成果は現れているが、全市的には地域差が生じている。地域計画の策定が重要となる。

議員 まちづくり協議会自体が市民には負担となっている。なぜ必要で、市民に何がメリットなのか。

政策部長 市民に、自らの地域に住みよいまちにしていくよう考えていただく。他市にも誇れる良い取組と感じている。

議員 財政が緊迫している中で、次の世代に負担をかけてはならない。行政と地域で市民要望に効率的に応えていかなければならない。



笠岡諸島の日本遺産登録後の 発展にインターネットは不可欠

議員 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で始まった在宅ワークも定着してきた。最近ではリゾート地での在宅ワークを採用する企業も増えている。笠岡諸島に、企業誘致・定住促進・観光誘致するには、インターネット環境が最大のネックである。この対策についてどのように考えているのか。

市長 携帯電話等の通信エリアは有人7島が含まれ、住民が居住の全ての地区で利用可能である。

議員 現在の状況では、企業が使うには無理がある。光回線整備の予算を国に働きかけていくべきではないのか。

政策部長 費用対効果とともに整備方法について検討する。



やまもととしあき
山本俊明議員



令和3年度の予算編成と市の運営について問う

議員 令和3年度の予算も各課の積み上げを終わって査定段階に入っていると思う。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、補正予算の編成・実施は職員にとっても通常の業務に加え、加重業務であったことは間違いない。

そのことが新型コロナウイルス蔓延の中で危機を回避し、市民生活に直結し安全を守っている。しかし、感染拡大は地域経済を疲弊させ、地方税収は一転して大幅な減収の見通しとなっている。自治体行政サービスの水準をどう維持するのか、令和3年度をスタートとしている各種事業や第7次総合計画の見直しの必要があると考える。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい出口が見えない状態ではあるが、市長の考えをたずねる。

市長 新型コロナウイルス感染症対策として、市では8度の補正予算を編成し、国の特別定額給付金事業も併せて約61億6千万円の規模の対策を実施し、売上げの下がった事業者を応援する事業や水道料金の減免、給食費の補助、独り親家庭・障がい者への給付など最も影響を受ける弱い立場の人々を支援する事業に取り組んでいる。

第7次総合計画の見直しについては、来年度が後期計画の策定年度となり、まち・ひと・しごと創生総合戦略は今年度が計画最終年度となっていることから、1年延長した上で総合計画に総合戦略を統合し、令和4年度から7年度までの後期総合計画を策定したい。市民第一、現場第一の視点でポストコロナの新たな日常を見据えた計画と事業展開を図っていく。



おおもとくにみつ
大本邦光議員

投票率向上につながる施策について問う

議員 期日前投票の簡素化として、期日前投票宣誓書を投票所入場券の裏面に印刷し併用することで、職員の事務負担軽減と人員等の削減になると思うが見解をたずねる。

選挙管理委員長 併用することによって事前記入できるようになるため、事務負担の軽減、選挙人の滞留時間の短縮につながり、昨今の感染症対策にもなると考えている。作製に係る日数や様式の見直し、郵送経費等を調査したところ、従来に比べると作製費用、作製日数、郵送経費などが増加する結果が出た。また、現在の限られたはがきのサイズだと記入しづらいこと等も考えられ、入場券様式や作製スケジュールなどの見直しを含めて、今後よりよい方向となるよう検討していく予定である。



公共工事の平準化について問う

議員 少子高齢化、人口減少社会において地域の人材確保が年々難しくなる中、建設業の活性化による担い手確保のための、公共工事の平準化についてたずねる。

市長 適切な工期に基づく請負契約は、工事建設業者にとっては資材確保の優位性につながることや計画的な工程管理による労働環境の向上に資することから、債務負担行為の活用は有効な手段であると考えている。また、現在の本市における重要な取組の一例を挙げると、四半期ごとの工事予定を財政課のホームページ上に公表しており、早期発注及び計画的な工事発注を行うことにより、公共工事の平準化に努めている。本市としても今後他市の状況を見ながら研究していく。



やまもと さとし
山本 聡議員

人口上昇を目指す 地域づくりを問う

議員 人口ビジョンによると、高齢化・晩婚化・未婚化により、自然動態・社会動態ともに減少傾向にある、としている。企業誘致に成果が出ているものの、結果的に人口増となっていない要因は何かまた、企業誘致の際、税等の優遇措置など考えられないか。

政策部長 誘致した企業の操業が本格化されれば人口減少の改善につながるかと考えている。優遇措置も一つの方法だが、細やかな支援が必要である。社会動態改善に向けた取組を継続的に実施したい。

議員 就業形態の柔軟化による島しょ部への企業誘致のため、情報インフラ整備の予定をたずねる。

政策部長 高度無線環境を実現す



るための事業の検討をしている。総合計画、離島振興計画で定義づけることができるよう研究を進めていく。

観光行政に ついて問う

議員 コロナ禍を契機に、観光政策を郷土愛のような広く市民ぐるみの大きなテーマとして捉え直したい。観光連盟の在り方、この冬開催する「シマフカナデル」の取組姿勢についてたずねる。

産業部長 観光連盟は組織の独立強化のため法人化を進めている。

当面の間、支援は必要と考えるが、収益事業の開拓等で、財政基盤の確立を図り自助努力を行うようにする。「シマフカナデル」の主催

者はブランド協議会であり、市と教育委員会が後援し、バックアップをしている。プレイベントに引き続き、2月の本イベントに向けて連携を図りながら協力していく。



くわだ まさあき
桑田昌哲議員

市のごみ袋有料化はなぜ？ ごみの分別を考える

議員 ごみ袋有料化のメリットも含め、基本的な考え方について本市の見解をたずねる。

市長 ごみ量が削減されれば、新最終処分場・新ごみ焼却場に対する本市負担金の削減とごみ処理費用が削減できる。有料化による収入で生ごみ処理機設置補助金の増額や分別ステーション設置費等で市民の皆様への還元ができる。

議員 事業ごみの削減も促進できないか。事業者からも分別等で少しでも減量したいという声もある。

市民生活部長 事業所から出るごみはそれぞれの事業形態によつて処理の仕方も様々であり、それぞれに応じた形で事業所の方に啓発を頑張っていきたい。



新型コロナウイルス第3波を考え 市民病院でのPCR検査体制を

議員 市民病院に新型コロナウイルス感染症の発症者病棟を作ることだが、患者の受け入れ体制はどのように想定しているか。

市長 4月から病棟4階を利用し、機器材の整備を整え、病床は最大8床、県からの依頼で重症ではない患者を受け入れ、市民病院の医師・看護師が対応する。

議員 市民病院でのPCR検査の実施について検討しているか。

病院管理局長 現在は医師の判断により1日3〜4名分を検査し、翌日業者から結果が出る状況である。機械を導入し、自前で検査ができるよう整備を整えている。希望者も検査できるよう検討中で、検査結果は2時間ほどで判明する。



にしな ふみひで
仁科文秀議員

笠岡の魅力の象徴 古城山公園をもっと生かしたい

議員 笠岡をアピールするために古城山公園の存在は大きく、昭和10年の山陽新報（現在の山陽新聞）に県民の投票で岡山県内の10の景勝地の一つに選ばれている。整備に力を入れていただきたい。

市長 見晴らしを阻害する樹木のせん定・伐採、展望台の案内板等の整備に引き続き努め、市民に愛される公園にしたい。

政策部長 古城山公園からの魅力的な写真を発信したい。移住を考える方には古城山から笠岡を一望いただき、市の紹介をしている。

議員 そこへ行ってみたいと思わせる魅力は①景色がいい②食べ物がおいしい③歴史文化遺産があるの3点。笠岡は全て満たしている。



笠岡の歴史や文化をもっと市内外に強く発信したい

議員 昨年、竹喬美術館の作品を市内の公民館等へ出張展示した。どう総括し、今後どうするのか。

教育部長 鑑賞者からは本物の美術品を見ることができ、寄贈者からは多くの人に見てもらえてうれしとの声がある。館外展示の実施要領に沿って今後も継続したい。公民館とも協議し生涯学習課も責任を持つて管理に努めたい。

議員 10月3日から約2か月間、笠岡諸島の高島ゆかりの企画展が郷土館であった。多くの人に見てもらえる工夫が必要ではないか。

教育部長 主に市民へ広報した企画展の入場者は178人だった。郷土館の移転も含め歴史文化を紹介できる施設の設置を検討する。



まなべ ようこ
真鍋陽子議員

ふるさと納税について問う

議員 自主財源を増やす取組として重要視しているふるさと納税制度に対するビジョンをたずねる。

市長 ふるさと納税をきっかけとして、農村と都市間の交流事業など、交流の輪を広げ、交流人口の増加や関係人口の拡大を図る取組などを検討していきたい。

議員 ふるさと納税の対象として笠岡を選んでくださった方々の選択の幅を広げるために、市内観光パンフレットを兼ねたカタログギフトを作成することはできるか。

市長 リピーターの確保や交流人口の増加が期待できると考えられるので、笠岡に行ってみたいと思えるような魅力を満載した総合カタログの作成を検討していきたい。



気候変動対策について問う

議員 新庁舎、市民病院の建て替えなども検討されている中で、岡山市や福山市のような電力の地産地消事業は検討されているのか。

市民生活部長 これから取り組むことが可能な施設については、可能な限り省エネや温室効果ガス削減を含めた取組を環境課担当サイドとしても提案していきたい。様々なイノベーションによって取組を取り上げやすい状況も生まれてくると思う。最新設備の導入等も提案していく中で、必ず導入していきたいと考えている。

※他に「新型コロナウイルス感染症」、「県知事選」、「火災件数の推移」、「市民病院小児科」、「特別支援教育の充実」についての質問をしました。



もりおかさとこ
森岡聡子議員

コロナ禍における福祉の
現状と対応策について問う

議員 高齢者、障がい者の介護事業所の市内の状況をたずねる。

市長 市内の介護事業所とはしっかりと情報共有を行っている。感染の予防、拡大防止に向け、各福祉施設との連携を密に取り組む。

議員 緊急事態宣言解除後の地域活動についてたずねる。

市長 新しい生活様式の中、介護事業所や通いの場に参加する方に感染防止対策を徹底し、百歳体操や気軽に仲間との会話を楽しんでいただけるよう取り組む。

議員 社会福祉協議会が行っている市出身の大学生への食糧支援について市としてどう捉えているか。



健康福祉部長 どういった形になるか未定だが、応援、支援したい。

有害鳥獣強化対策を問う

議員 広域駆除対策協議会についてたずねる。

産業部長 まずは岡山県に働きかけ、井笠地域で対策を考える機会をつくりたい。

議員 総合計画における防護柵の補助件数と駆除班員数の見直しは考えられるのか。また、地域住民組織への助成、補助金申請の簡素化についてたずねる。

産業部長 総合計画の見直しについては適切にしたい。集落組織の支援策については、来年度からイノシシの捕獲に対する助成を検討している。申請については、今後簡素化を図れるよう考えたい。



臨時会を
開催しました

会期
11月臨時会
11月17日
12月臨時会
12月23日



新型コロナ
ウイルス感染症対策
として補正予算を
可決しました

11月臨時会

事業名	予算額
障がい者等インフルエンザ予防接種支援事業 (障がい者等で他の接種補助等の対象外の方に 接種費用を償還給付)	263万円
出産育児応援特別給付金事業 (令和2年4月2日から1年の間に出生した子供の 保護者への特別給付金の給付)	2449万円
プレミアム付商品券事業 (プレミアム商品券の発行)	1億4538万円
観光応援事業(宿泊施設支援事業) (宿泊クーポン券の対象者追加)	90万円

12月臨時会

事業名	予算額
ひとり親家庭等応援事業 (ひとり親世帯等へ臨時特別給付金の再支給)	2943万円

市議会かさおかの表紙を飾ってみませんか！



「ママと一緒に」 岡本圭司様

笠岡市議会では、笠岡市観光連盟主催のフォトコンテスト(年4回開催)に議長賞を設置していただいています。

議長賞に選ばれた作品は市議会かさおかの表紙として、**市内に全戸配布**され、**ホームページに掲載**されます。

ひまわりフォトコンテスト2020の議長賞は、岡本圭司様の作品「ママと一緒に」となりました。この作品は8月号の表紙として、改めて掲載させていただきます。

次回のフォトコンテストは、道の駅笠岡ベイファームの「菜の花」がテーマです。

みなさまぜひご応募ください。

3月定例会のお知らせ

2月26日(金)	初日(議案上程ほか)
3月6日(土)	2日目(代表質問)
9日(火)	3日目(個人質問)
10日(水)	4日目(個人質問)
11日(木)	5日目(個人質問)
15日(月)	6日目(議案質疑ほか)
16日(火)	総務文教委員会
18日(木)	厚生産業委員会
24日(水)	予算決算委員会
25日(木)	議会運営委員会
26日(金)	最終日(議案採決ほか)

※この日程は予定です。
日程は2月24日の議会運営委員会で決定します。



応募にあたって

○議長賞となった作品は、市議会かさおかの表紙に使用させていただきます。

○笠岡市観光連盟の使用基準の範囲で別に使用することがあります。

○応募は電子メールで笠岡市観光連盟へお願いします。

(info@kasaoka-kankou.jp)

○応募の詳細は笠岡市観光連盟HPを御覧ください。

(http://www.kasaoka-kankou.jp/photo)

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、中止、または変更となる場合がありますのでご注意ください。



編集の窓

今年こそは、痛めつけられた新型コロナウイルスと決別し、実り多い年にしたいものです。

12月定例会では、補正予算の一部を認めず予算から削除し、条例案1件も否決となりました。審議の過程では執行部に対し質疑を重ね、議員が意見を述べ合い、議会内では賛否が分れました。最終的に事業内容や経費負担等に払しょくしきれない疑義があり、執行部の提案では後々問題が残るという判断となりました。今後とも、事業の優先度や必要性を精査し説明責任を果たしていただくよう要望いたしました。

傍聴について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、議会の傍聴につきましては、できる限りお控えいただきますようお願いいたします。

また、現在のところ傍聴席は間を空けて座っていただくようお願いしています。マスク着用の上、入場時の検温・手指消毒にご協力をお願いいたします。(今後の状況により変更する可能性もあります。)

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。
ぜひHPをご覧ください。

